

## 福祉サービス第三者評価結果

### ①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

### ②事業者情報

名称: 所沢市立 プロペラ	種別: 生活介護事業
代表者氏名: 鈴木 広美	定員(利用人数): 40 (41) 名
所在地: 〒 359-0012 所沢市坂之下673-1	TEL 04-2945-7777

### ③総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>(1)【地域との交流と利用者の社会進出】</p> <p>26 出前講座や車椅子講座、車椅子の貸出の他、合同防災訓練・福祉避難所としての整備、手話ソング、製作品の販売、地区文化祭への参加・彩の国ボランティア体験受入れ、地域小中学生の職場体験受入れ等々、多様な活動を通して地域との交流の取組を行うと共に、利用者の社会進出も目指した積極的な取組が行われています。</p> <p>(2)【利用者の健康維持の為の支援】</p> <p>52 毎日のバイタルチェック・月1回の体重測定・年1回の健康診断/歯科検診等の健康管理が行われており、嘱託医との連携も確保されています。ストレッチウォーキングやPTに依る指導等も定期的に行われています。常勤看護師2名と喀痰吸引の研修を終えた介護福祉士4名の配置も行っています。</p> <p>(3)【リスクマネジメント体制】</p> <p>37 各種リスクに対応した緊急マニュアルが策定されており、年度初めの職員会議で安全管理・危機管理マニュアルの周知を図っています。リスクマネジメント委員会が設置されており、主にヒヤリハット事例に付き、要因分析・対応策の検討・集計/分析等、仕組として機能しています。職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修も定期的に行われています。</p> <p>(3)【利用者を尊重したサービス提供】</p> <p>28 事業計画や「権利擁護～意思決定支援～シート」、所沢市立プロペラ職員ガイドライン等に利用者を尊重したサービスの提供が謳われ、職員会議や支援会議でのグループワーク、内部研修の実施、外部研修への参加、及び倫理綱領の策定等を通し、職員に周知されています。虐待防止委員会が定期的開催され、現況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っています。</p>
<p>◇特にコメントを要する点</p> <p>(1)【目標管理制度】</p> <p>17 目標管理制度の導入年と云う事もあり、仕組の詳細が出来上がっていない様に思えます。正規職員だけが対象(13名)で、2名のみしか自己管理シートの提出がない事からも、職員の理解度が伺えます。もっとシステムの完成度を高めてから導入を考えられた方が良い様に感じます。</p> <p>(2)【感染症対策】</p> <p>38 感染症に対する予防や発生した場合の利用者の安全確保の体制に付いては、看護師による研修を行い、周知を図っていますが、各種感染症毎のマニュアルは準備されていません。感染症については、各々対応の仕方がかなり違うと云う事もあり、それぞれに対応したフローチャート等を準備し、発生時には瞬時に対応できる様、準備する事が喫緊の課題と言えそうです。</p>

### ④第三者評価結果に対する事業者のコメント

<p>①評価の高い点については引き続き意識した取り組みをおこなっていく。</p> <p>②目標管理制度については、目的と作成方法について学習し再認識する。その上で職員が業務意識を高められるよう促していきたい。</p> <p>③感染症対策については、嘱託医及び看護師の助言の下、早急に各感染症ごとのマニュアル整備をおこない、利用者及び職員が安全に生活できるようにする。</p> <p>④今回の評価項目を正しく理解し、現在おこなっている業務に求められていることを適切におこなえるよう意識していきたい。</p>
--

### ⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙